

心・体・暮らしに寄り添う クリニック ちくさヒルズ通信 NO. 18

変形性関節症、外傷による関節の痛み、腰痛、
外傷による機能障害に

今や主流となりつつある「PRP療法」

この治療は、ご自分の血液から作製したPRP(多血小板血漿)を体の傷んでいる部分に注入して、自分がもともと持っている修復力をサポートする治療法です。今では整形外科領域を中心に形成外科、歯科、口腔外科などでも幅広くPRP療法が多く用いられています。

PRPとは、血小板が多量に含まれている血漿のことで、患者さん自身の血液から血小板を抽出して作製しますが、そのPRPを用いておこなうのがPRP療法と言います。いわゆる、血小板が持つ「組織の修復力」を促すことで行う治療です。

血小板には「血液を固めるはたらき」だけでなく、組織の修復を促す成長因子を産生するはたらきがあります。その機能を利用することで、自分自身がもともと持っている修復力を引き出し、治りにくいものや、治るまでに時間を要する怪我や病気の治療に用いられるのです。

このようなPRP療法は、さまざまな怪我や病気の治療に用いられています。

特に整形外科においては変形性膝関節症(中年から高齢者の膝の痛み)・関節炎などの一般的な疾病や、スポーツによる腱炎や韌帯損傷(野球肘・野球肩・アキレス腱炎など)や肉離れなどに対してPRP療法を行っています。

日本やアメリカで活躍されている日本のプロ野球選手の田中将大選手や大谷翔平選手も肘の障害に対してこの治療を受けていました。また、リハビリを長期間行っても効果がなかった場合でも効果が認められています。

当クリニックでのPRP治療の流れ

採血

患者様の血液を必要量(約20mL～60mL)採血します。献血よりも少ない量の採血になりますので患者様のご負担も比較的少ない量です。

PRPの作製

当クリニックに併設する細胞培養施設で血液を遠心分離し、PRPを作製します。

注射による投与

極細の針を用いてPRPを膝関節や筋腱付着部等傷んでいるところに注入します。



当クリニック
林衆治院長



当クリニック
整形外科医師
岩田 久 先生

変形性関節症・腰椎症等膝関節痛、腰痛でお悩みの患者様より手術を受けたくないというご意見を問診時によくお伺い致します。保険診療でヒアルロン酸の関節内注射や薬の内服等で治療を行ってきたが完治が難しい患者様に手術をご提案される病院も少なくはありません。

当院は手術的治療を受ける前にPRP・幹細胞治療という選択肢を患者様にご提案し、組織の再生による機能改善や関節・腰椎症の進行を抑制を目的として治療をご提供致します。

暑い夏、この時期、 どうしてもやめられない！ これってアルコール依存症？



飲酒を正しく知ることで毎日がもっと楽しく過ごせますよ！

皆さん、こんな経験は今までにありませんか？

- ・休肝日が作れない、作っても長続きしない
- ・飲み始めたらなかなか止まらない
- ・二日酔いで仕事が捗らない
- ・飲酒によって記憶がなくなる時がある
- ・健康診断でまさか、再検査を指示される…

日本人口のおよそ100人に1人はアルコール依存症を生涯経験すると言われています。

アルコール依存症は、習慣的に飲酒をする方であればどなたでもなりえる身近な病気で、習慣的な多量飲酒が原因でお酒により脳がハイジャックされた状態を言うのです。そのため、自分の意思ではお酒の飲み方をコントロールできなくなってしまいます。本人の意志の弱さやだらしなさが原因ではなく、アルコール依存症は習慣的に多量飲酒をする人であれば誰でもなる可能性があるのです。

お酒を減らすことによる長期的なメリットは

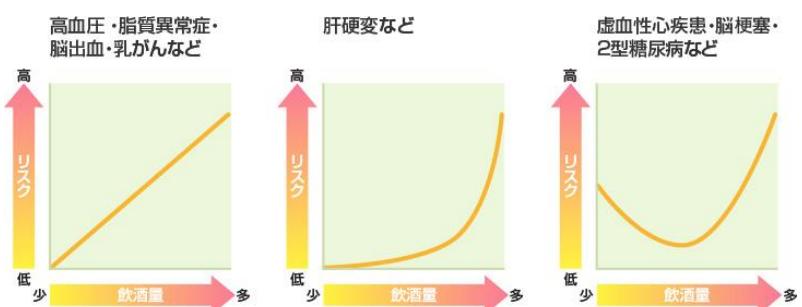
平均的な飲酒量と長期的な健康リスクの関係には、下図のように病気の種類によってさまざまなパターンがみられます。

高血圧では平均的な飲酒量が増加すればするほど発症リスクが高まるのに対し、肝硬変では平均的な飲酒量の少ないちはリスクの上昇はわずかですが、平均飲酒量が多くなるとリスクがより高まるのが特徴です。また、虚血性心疾患では、飲酒しない方に比べて少量を平均的に飲酒する方のリスクが低くなりますが、さらに平均飲酒量が増えるとその増加に伴って発症リスクが高くなるという特異的なパターンがみられます。

このように、適切な飲酒習慣は多量の飲酒習慣を続ける場合と比べて健康リスクを低下させる傾向があり、メリットが期待できると考えられます。

飲酒量と健康リスク

このように、適切な飲酒習慣は多量の飲酒習慣を続ける場合と比べて健康リスクを低下させる傾向があり、メリットが期待できると考えられます。



健康の知恵袋

梅酒のお薦め！



梅酒に豊富に含まれるクエン酸には、脂肪を分解させたり、燃焼させたりするはたらきや、新陳代謝を促進し、老廃物を排出するはたらきもあるといわれているので、むくみの解消にも効果的です。さらに、便秘解消の効能があるので、この夏是非お試しあれ！

広報紙
発行

「クリニックちくさヒルズ通信」

医療法人財団椿扇会 クリニックちくさヒルズ

〒464-0858 名古屋市千種区千種2-24-2

千種タワーヒルズ1F

ご意見はこちらまで info@clinic-chikusahills.com

編集・発行 医療法人財団椿扇会 クリニックちくさヒルズ

編集委員会(原稿責任者 川島和信)

発行日 毎月10日

